

令和5年度

生命環境学群地球学類 推薦入試

小論文 試験問題

注意事項

- ① 問題Ⅰから問題Ⅲのすべてに解答すること。
- ② 解答用紙は各問題に対して1枚使用すること。それぞれの解答用紙の横長の枠内に「問題Ⅰ」のように問題番号を明記し、小問に分かれている場合は解答用紙に「問1」のように小問番号を記入した上で、小問ごとに解答すること。
- ③ 問題冊子と下書き用紙は試験終了後持ち帰ること。
- ④ 試験時間は120分です。

問題I 次の英文を読み、問1から問3に答えなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

(P. Francis 著 : Volcanoes: A Planetary Perspective, 1993 より抜粋・改変)

注 erupt: 噴火する、噴出する、diffuse: 拡散する、magma chamber: マグマだまり、lava: 溶岩、uncontaminated: 汚染されていない、voluminous: 容積の大きい、vent: 噴火口、silicate melt: ケイ酸塩溶融体、eruption plume: 噴煙、Correlation Spectrometer: 相関分光計、absorption: 吸収

問1 下線部(a)の理由を、文章中の記述に従って50字程度で説明しなさい。

問2 下線部(b)の文章を和訳しなさい。

問3 下線部(c)の Three different techniques について文章中で述べられている具体例を250字程度でまとめなさい。

問題 II 最近、「流域治水」という言葉をニュースなどで見聞きすることが多い。流域治水の意味、流域治水が提唱されるようになった背景、今後の課題などについて、知るところを 200 字程度で述べなさい。

問題 III 時間に対する変化が一定ではない、指数関数で近似できるような地球科学的現象を一つあげ、そのような変化となる理由を含め、その現象を 300 字程度で説明しなさい。必要があれば説明に数式を含めてよいが、数式部分は字数に含めなくてよい。